

まほろば編集部 島田 浩

恒例のムソーさん主催、若手の会。今回は京都集合という事で、いつも お互い商品のやり取りでお世話になっているトータルヘルスデザインさ んや、プレマさんの本拠地でもあり、かねがねご挨拶に伺いたいと思っ ていた私、島田が参加させて頂きました。

一日目、嵐山 カモシカさん

厳寒の札幌から7:30発関空行きに乗り、そこからまっすぐ京都駅へ。ポツポツと雨が降る最初の目的地、嵐山についた頃には、すでにお昼を過ぎていました。

ここには 2012 年の発酵サミット(滋賀県高島市)で出会い、エリクサー浄水器を購入して頂いた関さんのお店、「発酵食堂カモシカ」があります。当時はオープン直前で、あれから 5 年、今では近所に 2 号店、発酵スィーツのお店「カモシカ発酵マルシェ」もオープンされていました。聞くと関さんは学生時代を北海道で過ごされたとのこと。そんなご縁もあったのでしょうか。発酵をテーマにした店内では、オリジナルの発酵食品が棚にズラリと並び目を引きます。





カモシカ発酵マルシェと関さん(手前)

研修報告 2018

ちょうどお昼だったこともありラン チをいただきましたが、手作りのお漬 物や珍しいへして、まったりとしたコ クのある白みその京風お味噌汁など、 発酵食品中心のとてもおいしくお腹に やさしいメニューに大満足でした。JR 嵯峨嵐山駅から徒歩1分の好アクセス ですので、お近くにお出かけの際は、 ぜひ立ち寄られてみてはいかがでしょ うか。

稲さん

さて、嵐山にはもう一軒、エリクサ ーを使っていただいているお店が。渡 月橋にほど近い嵐山の観光スポットに ある嵯峨豆腐「稲」と、桜餅「稲」さ ん。実は、うっかり計算ミスで、時間 切れのため取材できませんでした。こ ちらにはトータルヘルス様のご紹介で、 2店舗とも業務用のハイパーエリクサー



嵯峨豆腐「稲」さん。もう一店舗桜餅の店も。



二条駅そばの商店街アーケードに面したプレマ本社と店舗







こちらは発酵食堂カモシカ。キッチンにはエリクサーが。

をご導入いただいています。今度の機会には ぜひ立ち寄ってみたいところです。

二条、プレマさん

次は2時半にアポイントを取らせて頂いて いるプレマさん。急いで電車に飛び乗りなんと か二条城そばのアーケード商店街に居を構え るプレマさんの本社へ。「びんちょうたんコム」 というウェブサイトでご存知の方も多いこと と思います。現在エリクサーを始め一二三糖 や七五三塩など扱って頂いています。担当の 山崎さんとご挨拶を交わし、店内を見学させ



プレマ山崎さん

京都 - 大阪視察の方



中川社長肝いりの本格ジェラート。

て頂きました。社長の中川さんは、日本電磁 波協会の前身である日本電磁波測定士協会立 ち上げに際し初代理事長を務められ、アーシ ングの普及にも尽力してこられました。現在、 中川さんが力を入れていらっしゃるこだわり のジェラートは、残念ながらその日、店舗休 日のため試食できませんでした。とても好評 のようですよ。

高の原、トータルヘルスデザインさん

次は5時に約束しているトータルへルスデザインさんへ。JR二条駅から京都駅で近鉄線に乗り換え、さらに乗車約30分、奈良県との県境に近い京都府木津川市にある高の原駅から歩いてほどなく、立派な建物の京都本社が見えてきました。

Cestore.

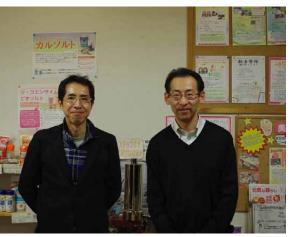
トータルヘルスデザイン京都本社ビル

トータルヘルスデザインさんとは 2003 年にエリクサーをお取り扱い いただくようになって以来、へうげ 味噌やアスタジー等卸させて頂き、トータルさんからは Bhado (美波動) など仕入れて、お互いに商品のやり 取りをさせていただいております。

2004 年頃に札幌にいらした際お会いして以来、約14年ぶりになる取締役の辰村真一さんをお訪ねしました。社主の近藤洋一さんにはお会いできませんでしたが、ちょうど社長の近藤洋子さんがいらっしゃって

ご挨拶させて頂きました。また、まほろば商品の記事を担当していただいている高木みのりさん(実は辻信一先生をご紹介いただいたのは高木さんです)はじめ、いつも電話対応でお世話になっているスタッフの皆さんにご挨拶でき、長年の心のつかえがとれたような気がしました。





取締役の辰村さんとエリクサーの前で

二日目 一乗寺、 ヘルプさん

翌日は、左京区の下鴨 神社にほど近い一乗寺に ある、オーガニックスパー「ヘルプ」さんを訪ねました。

ここは、現在京都在住で、まほろば 2F で仏画教室を開催していらした国井さんから、「京都に来たら、ぜひ行ってみてください。まほろばさん

とまた違った感じの良い店ですよ!」とお声がけをいただいていました。ついでに下鴨神社に参拝がてら、と気軽に考えていたものの、一乗寺は京都駅からアクセスが悪く(まほろば本店みたい?)バスで行くか(乗車約50分)、乗り換え2回で行くか(30~40分程度?)、それともレンタル自転車をこいでいくか(苦笑)の選択で、あれこれ考え調べているうちに、思ったより時間を使ってしまい、お昼12:30京都駅集合のムソーさん研修まで、だんだんと時間が無くなってきてしまいました。

とりあえず一番速そうな乗り換えを選択し、 宿が京都駅から少し離れていたこともあり、直 接、乗り換え駅の東福寺駅まで歩くことに。こ



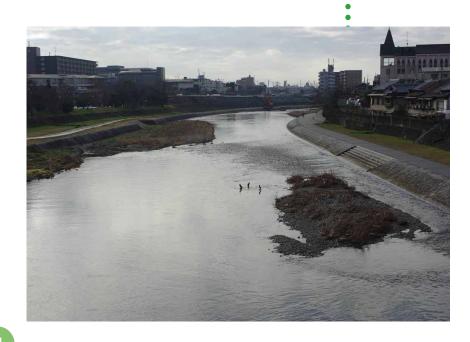


ヘルプさんの一乗寺店にて

んな時はスマホが便利ですね!! ところがいまだに携帯を持たないアナログ派の私…。カンを

頼りに太陽の方角を見ながら 鴨川を渡り、何とか無事、駅 までたどり着きました。

そんなこんなでお店に着いたのは10:30頃。副店長さんにご挨拶し、さっと見て帰るうと思ったものの、予想以上の良いお店で、確かに国井さんのおっしゃったとおりでした。ふと、「いい店って何だろう?」と心だろう?」と心に浮かび、考え込んでしまいました。



京都 - 大阪視察の旅



2000年の歴史を誇る下鴨神社(Wikipedia より)

下鴨神社

そうこうしているうちにたっぷり時間を費やしてしまい、戻る時間を考えると参拝どころではありません。BC90年から記録が残り2000年以上の社歴を誇る下鴨神社の鳥居を遠くに眺めて引き返し、集合場所の京都駅へと向かうことにしました。

それにしても 2000 年ってすごいですよね。 北海道神宮で 150 年ほど? 遥かなる歴史を 感じざるをえません。参拝できなかったのは 残念でしたが、ふとこんな考えが…。

「2000年は確かにすごいが、46億年の地球の長い歴史から見たらほんの最近の事。聖地といわれてる場所だって、もともとは自然の

大地なんだ。そう考えると、土地により エネルギーの高い低いはあるものの、こ の地球自体が、本来聖地そのものだった んじゃないか…。ほんとうは身近にある 足元の大地を敬うことが大切かもしれない…」 そんなインスピレーションが訪れました。負 け惜しみだと思いつつ、晴れ晴れとした気持 ちで集合場所へと向かいました。

奈良、かんとりいさん

さて、ムソーさんの若手の会。今回最初のプログラムは、メンバーさんの一人、奈良の自然食品店「かんとりい」さん訪問でした。人里離れた山間をぬけ、こんなところに店があるのかと思いつつたどり着いたのは、駅近くの住宅街。その中にある一軒家の瀟洒なお店です。

自宅を改装し、奥様とご主人で切り盛りされる家庭的な感じが心地よく、お父さんの代から数えると30年ほどになるそうです。奥様の温かなおもてなしがほっとさせるいいお店でした。





「かんとりい」増本社長

研修報告 2018



ムソー西日本営業部(上)と倉庫の様子(右)



「かんとりい」さんを後にし、一路ムソーさんの西日本の物流拠点である、大阪の南隣、堺市の倉庫へ。ここには現在ムソーさんの本社機能も構えています。

アウトソーシングしている物流倉庫は、品違いの無いように機能的に管理され、大変参考になりました。見学後、メンバーで今回の議案についてミーティングした後、この日は解散。

三日目、茨木市 冨貴食研さん

翌日は、大阪市内から高速道で1時間ほど 京都方面へ走った茨木市にある、冨貴食研さ んへ。2年ほど前に現在の場所へ移転したそう で、最新設備の整ったきれいな工場でした。

人気の胡麻ドレッシングを中心に、様々な メーカーさんのOEMを手掛けているそうです。



今回はおなじみムソーのマヨネーズを製造する工程を見学させて頂きました。最近は台湾からの引き合いが多く、輸出比率も高くなってき











京都 - 大阪視察のが

ているようです。特に社名の「冨貴」が縁起が良いと、現地で人気との事でした。

古墳?

昼食後、新大阪まで戻り、いったん解散。道 すがら、あちこちに見えた小高い丘陵は、古墳 だとのこと。確か、空港から京都までの道中に もあったような…。大阪は、大阪城や商都のイ メージが強かったのですが、周辺に社歴の古 い神社や古墳が点在する、古代の面影が息づ く街でもあったのですね。意外な発見でした。



あたりまえのように古墳がある日常なんですね

大手通り ムスビガーデンさん

その後、ムソーさんの登記上の本社所在地で、大阪市中心部大手通りにある直営店、「ムスビガーデン」さんを見学させて頂きました。 当初はムソーブランドのみ取り扱いだったようですが、数年前に店内をリニューアルし、他社の仕入れ商品も置くようになったそうです。



ムスビガーデンさんにはマクロビスイーツも





通りから入りやすいオシャレな感じの良い店で、2階は料理教室になっていて定期的にイベントを開催しているようです。

箕面市、マジュンさん

この時点で午後3時を回り、帰りの飛行機の時間までもう一軒、大阪の北隣、箕面市まで引き返し、やはりエリクサー取り扱いでお世話になっているペットホテル、「マジュン」さんにお邪魔しました。

なんでペットホテルでエリクサー???と、

研修報告 2018

クエスチョンが3つくらいつきそうですが、 実はここ、ちょっと変わったお店なんです。誤解を恐れず言えば、ワンちゃんをまるで犬と思っていない(人間と思っている?)店主、友重さえ子さんの想いで作られた、どこにもないペットホテルです。たとえばドイツ振動(波動)医療を取り入れた講座を定期的に開催したり、人間が美味しく食べられるレベルの手作りペットフードを販売していたり、お預かりの期間中、ワンちゃんたちの本当の健康を考え、いかにストレスのない状態で、家族としてのサービスを提供できるか、エトセトラ…と、まるでペットのまほろば(?)のような不思議な感じをあわせ持つお店、そして実によく話の合う方なのです。

最寄りの駅までわざわざお迎えに来ていただき、早速お邪魔すると、ロマネスク風のヨーロピアンなインテリアで素敵な空間。カフェを併設しており、お茶だけに来られる常連様もいらっしゃるとか。世界中を旅行されたことのあるお客様に、「こんなペットホテルは世界でここだけ」と言って頂いたそうです。洋風なのに、まるで神社のような神聖な、透明な空気を感じさせてくれます。しばし歓談し、まったりさせて頂きました。ここも、「いい店」であることに疑いようありません。

終わりに

いよいよ時間となり、帰途につきましたが、 今回は良い意味での疑問を持ち帰ることとな りました。それは、「いい店とは何か?」。単純 に答えが出せることではないようにも思いま すが、「まだまだできることはあるぞ」、と思わ せてくれた旅でした。これから日々の業務で、 この問いに答えが出せる様、スタッフと共有



行きの飛行機から見た支笏湖と恵庭岳&樽前山。確かに聖地…。







マジュン代表、友重さん (中央)

しつつ励んでまいりたいと思います。

そして、この地球のどこであっても、大昔は「聖地」だったのだという事を忘れずに、今いるこの場所を聖地のように敬い、そんな清らかな地球を取り戻すことができる様、祈りながら毎日を過ごしていけたらよいなと、思いを新たにしました。(まずは自分の身の回りからですね…。大いに反省。)

だらだらと書いてしまい申し訳ございません。ひとまず報告とさせていただきます。